

第33回 関西SOMATOM研究会

立冬の候、皆様におかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、第33回関西SOMATOM研究会を下記日程にて開催する運びとなりました。今回は『循環器領域』をテーマに掲げ、大血管系、心臓を中心としたプログラム構成となっております。前回好評であった、会場参加型の企画もご用意しております。

また、特別講演として愛媛大学医学部附属病院 放射線科 講師 倉田 聖先生をお招きし『心臓CTを用いた循環器疾患診断マネージメント：日常臨床から画像支援、臨床研究まで』と題しましてご講演を頂きます。ご多忙の折とは存じますが多数のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

※ **本研究会はシーメンスCTユーザー以外の方もご参加頂けます。**

開催日 2017年12月2日（土） 14:00～18:00
開催場所 エーザイ株式会社『大阪コミュニケーションオフィス』
梅田スカイビルタワーイースト33階 会議室 TEL:06-4796-0450

会費：1000円

当研究会はX線CT認定技師（3単位）、肺がんCT検診専門技師（5単位）、日本救急撮影技師（2単位）更新講習会受講のための単位認定講習会となっております。

～プログラム～

- 「開会のご挨拶」 関西SOMATOM研究会当番幹事：上田 祐二（西宮渡辺心臓・血管センター）
- 14:00～14:30 【メーカー講演】 座長 前田 勝彦 先生（兵庫医科大学病院）
『造影剤の適正使用情報』 エーザイ株式会社 和田 博昭
『Syngo via 循環器領域の有用性』 シーメンスヘルスケア株式会社
- 14:30～15:00 【基礎講演】 座長 香川 清澄 先生（神戸大学医学部附属病院）
『3D画像作成時におけるワンポイント ～心・大血管を中心に～』 青山 周平 先生（兵庫医科大学病院）
- 15:00～16:00 【一般講演】 座長 垣見 明彦 先生（大阪市立大学医学部附属病院）
『4Dを使用した被ばく・低造影剤量の撮影はどこまでいけるか(仮)』 末廣 瑛里奈 先生（神戸大学医学部附属病院）
『心血管系のCTはどこまでやれるのか?』 加藤 勝也 先生（名古屋市立大学病院）
- 16:00～16:15 【休憩】
- 16:15～16:55 【会場参加型企画】 座長 福岡 隆史 先生（淀川キリスト教病院）
『放射線技師に必要な読影力
～やってみよう!!～ 循環器領域編』 上田 祐二 先生（西宮渡辺心臓・血管センター）
- 16:55～17:00 【休憩】
- 17:00～18:00 【特別講演】 座長 吉田 紗弓 先生（洛和会音羽病院）
『心臓CTを用いた循環器疾患診断マネージメント
日常臨床から画像支援、臨床研究まで』 愛媛大学医学部附属病院
放射線科 講師 倉田 聖先生
- 「閉会のご挨拶」 関西SOMATOM研究会代表幹事：星野 貴志（医真会八尾総合病院）

会場のご案内



関西SOMATOM研究会

代表幹事 医真会八尾総合病院 星野 貴志

幹事(順不同)

淀川キリスト教病院	福岡 隆史
西宮渡辺心臓・血管センター	上田 祐二
神戸大学医学部附属病院	香川 清澄
兵庫医科大学病院	前田 勝彦
大阪市立大学医学部附属病院	垣見 明彦
洛和会音羽病院	吉田 紗弓
住友病院	角田 浩
大阪市立総合医療センター	寺川 彰一

顧問

兵庫医科大学 ささやま医療センター 平山 伸一

〈共催〉 関西SOMATOM研究会／エーザイ株式会社／シーメンスヘルスケア株式会社